

令和4年度 町政懇談会事前質問等

※質問等の文章は原文のままとなっています

1

小学校統合関連

- 反対意見の多い小学校統合を一時凍結する考えがあるか否か
- 「とねさきがけ新聞10月号」に茨城県内「住みやすい町ランキング6位」と記載がありました。他地域に住んでいる方には住みやすく映っているわけです。
子育て世帯にとって、幼稚園、保育園、小学校がバランス良く配置されていることが、住みやすさの判断材料になっていると思います。
小学校統合を進めていますが、小学校が1つになってしまうと知ったら、どのように思うでしょうか？
財政が厳しく借金がある町＋小学校が1つしかない町＝「住みにくい町」としてレッテルを貼られてしまったら、子育て世代の方々が移り住んでくれないのではないかと危惧します。
町長は文小学校区から署名を受け取られています、今一度、町民の声に耳を傾けて頂けないでしょうか？
「住みやすい町 とねまち」を継続していくために、再検討をしていただけないでしょうか？

令和4年度 町政懇談会事前質問等

※質問等の文章は原文のままとなっています

2 小学校統合関連

- 布川小に来年の4月、統合されるようですが、近くに住む住民として小学生を乗せたスクールバス13台、送迎の親の自家用車数台が同じ時間帯に布川小に集中することに不安を感じます。道路が一本しかなく、どうやって安全に運行できるのか。駐車場が校庭の方に作られているようですが、その駐車場に入るにも道路が整備されてなく、また、非常に狭いです。すれ違うことはまずできません。
子供たち約500人もいるのですから、急いで一校に統合することもなく、いったん延期という形をとって本当に子供たちが少なくなったら統合してはいかがなものでしょうか。

3 小学校統合関連

- 統合した場合と、統合しない場合の経費等、金額での比較を示してほしい。

令和4年度 町政懇談会事前質問等

※質問等の文章は原文のままとなっています

4

小学校統合関連

小学校統廃合問題と跡地利用計画について 何故、来年度から小学校を統廃合を実施 しなければならなかったのか？ 何故、布川小にしなければならなかったのか？ 跡地利用にもある、広域災害時の対応として、一時避難場所と計画しているが、避難する人の規模想定は？また、想定外の避難に耐えられる計画案 があるのか？最終的な避難場所は、牛久である、そこまで避難する場所として跡地計画出来ているのか？

5

副町長について

- 副町長のポストを新設するにあたっての詳細な経緯。
- 副町長を公募で決定する考えがあるか否か。
- 副町長を置くという話があると聞きました。今までなったものを財政難の中、なぜ必要なのか知りたいです。龍ヶ崎のまねごとなら今まで通りで良いと思います。副町長は必要ありません。

令和4年度 町政懇談会事前質問等

※質問等の文章は原文のままとなっています

6 町長の報酬について

赤字続きの町政経済状況で町長の報酬をアップをするのはどうゆう考えからでしょうか？上杉鷹山のように町の財政を救うためには自らの生活を質素に切り詰めることが必要なのではないのでしょうか。

7 「利根町みんなのまち基本条例」の実効ある運用はこのままで可能か

去る10月28日の「利根町みんなのまち基本条例検討委員会」の最終会合において、同条例の最終案が決定されました。

私は、行政（町長部局）や議会の故意または不作為・不勉強による政策決定によって町民に不利益をもたらさないように、「町政の見守りと評価の組織の設置」をこの条例に盛り込むことをパブリック・コメントで上記委員会に提案しましたが、却下する回答がありました。

しかし、この回答は条例の主旨を真に理解していない回答と思います。また、利根町の政治の現状を直視せず、町民の疑問に答えられないものです。

上記条例策定委員会の条例策定期間中に、本町では「小学校統合」と「町特別職報酬等の引上げ」の少なくとも二つの町民が大きく不審を感じる政治案件が発生しました。この二つの案件は町民の不満や疑問に十分答えられないままに、実施段階に入っています。

《次ページへつづきます》

この二つの案件に対する町民の不満や疑問が正当であるかどうかは現段階では議論の余地があるかも知れません。しかし、だからこそ「みんなのまち基本条例」に基づく「町政の見守りと評価の組織」を速やかに設置し実働させるべきです。（今回は急ぐため上記条例に連動させずに設置するも可。）

「行政の自己チェック能力や、議会の行政に対するチェック能力の無さ」が今日の町政の混乱状態を生み出しています。

現在の町政の問題を解決するために、遅くとも今年（2022年）中に「町政の見守りと評価の組織」（正式名称は発足時まで決定）を立ち上げ、来年（2023年）初頭から町民の不満や疑問を払しょくする活動を開始できるように準備をしていただきたい。私が既に紹介したように、他の自治体ではまちづくり基本条例の中に上記主旨の組織を立ち上げている例が見られます。

今回は当懇談会主催の行政（町長部局）の前向きな回答を望みます。

令和4年度 町政懇談会事前質問等

※質問等の文章は原文のままとなっています

8 過疎債について

「とねさきがけ新聞10月号」で、町の借金残高と返済額見込みが記載されています。それによると毎年1億円が増えています。このことについて以下のことをお聞きします。

- ①住民一人当たりの借金はいくら相当になりますか。そこには、過疎債の返済金額は含まれていますか。
- ②町長として借金を減らすため、具体的にどんな努力をしていますか。
- ③未来ある子供たちと町民の借金を増やし続けることについて、どんな考えを持っていますか。その返済計画は、過疎債を含めてどのように立てていますか。

令和4年度 町政懇談会事前質問等

※質問等の文章は原文のままとなっています

9 町営霊園について

町営霊園管理費の運用に関して質問いたします。いつも町営霊園の管理をして頂きありがとうございます。さて、質問ですが、今年10月14日付で生活環境課より霊園使用者宛てに「管理料に関する決算について」の用紙が送付されました。その中に、令和3年度管理料収入に対する支出項目があり、軽ダンプの購入費が記されています。そこで、次の点について質問致します。

- ①軽ダンプの購入目的は何か？（購入の必要性とどこがそれを提案し、どこで議論、検討し、購入決裁はどなたがしましたか。）
- ②軽ダンプの名義人（または名称）は誰になっていますか？（名義人は利根町になっていると聞いていますが事実でしょうか。町の税金でない管理費で購入した軽ダンプが町有財産として扱われているのは、どのような法的根拠のもとで行われたのか、具体的に示してほしいです。管理費の定義からしてこの車は、霊園管理以外の用途には使えません。なぜなら、霊園管理費は、使用者がいつでも気持ち良くお墓参りできるように使われるべきお金だからです。）
- ③今回の決算書は、9月の町議会定例会で承認されたとありますが、軽ダンプ購入に関し監査委員から、おかしいとの指摘はありませんでしたか。
- ④町議会議員の方の中から、軽ダンプ購入に関して定例会の席上、疑問、質問はありませんでしたか。

議員の方々は、この件に関し熟知して承認されたと解釈してよろしいですか。

《次ページへつづきます》

- ⑤利用者へ郵送された決算書には、前年度からの繰越金がかかれていません。不足分を前年度繰越金等から充当したとありますが、差引いくらで、次年度繰越金はいくらになるのか不明です。利用する側（使用者）に対する決算書の体をなしていません。用紙表面に、「決算書につき承認されました・・・」とあるなら裏面に「決算書」の表題をつけて使用者へ報告するべきです。通知では困ります。再提出してください。

令和4年度 町政懇談会事前質問等

※質問等の文章は原文のままとなっています

10 小学校統合関連

約3年数カ月前、企画課主催で開催された「利根町シティプロモーションセミナー（フェリス女学院大学春木ゼミによる研究発表）」が、文化センターで盛大にありました。過疎指定都市となった利根町が対象でした。

当日は、佐々木町長をはじめ町議会議員、役場職員も多数参加され、本気度が伝わり、私は最前列で熱心にメモをとりながら真剣に町の将来を考えていました。都心から50km圏内に位置する都市の中で、神奈川、埼玉、千葉、茨城から、各々、1つの自治体を選択し、事細かく調査研究され、茨城県では利根町がその対象自治体として研究された内容でした。通勤圏なのに、なぜ過疎なのか？どうすれば過疎から脱却できるのか？大勢の町民が参加したセミナーは大盛況で終了しました。日本社会は、少子高齢化が急速に進んでいて、深刻な社会問題となっています。都市間格差も進み二極化はしていますが、新型コロナとの共存社会となり、世の中は大きく変化し“集中から分散”へと舵を切りやすくなりました。言い換えれば、集中から分散の受け皿として、利根町は都会脱出組の受け皿として、絶好の条件を整えれば、まだまだ陸の孤島化から免れるチャンスの存在なのです。

しかし、子育て層が移住（IターンやUターン含む）を考えなおすきっかけとなってしまう。小学校廃校（2小学校）し、1校しかない町になろうとしているのです。

《メッセージ》

人間誰でも間違いや誤ちはあるもの。決まったからと言っても、立ち止まることの大切さ。後悔してからでは遅い2つの小学校の廃校。

令和4年度 町政懇談会事前質問等

※質問等の文章は原文のままとなっています

11 小学校統合関連

東文間小学校跡地が14年間（15年目）も跡地利用されずに、廃墟状態です。なのに、地域住民に丁寧な説明やアンケートも取らない行政のやり方で、今回の小学校統合を急いで進めるやり方に憤りさえ覚えます。

歴史ある文小学校は複式学級を回避されました。文間小学校が、まだまだ大勢の児童が登校しているのに、廃校とは？先人の努力で教育の場をつくり、立派な数万人の卒業生を輩出してきた伝統校です。その小学校が廃校されようとしています。地域の核となる2つの伝統ある小学校を、勝手に廃校されようとしているのです。

新型コロナで説明不十分でした。世の中は密を避ける社会環境になりました。

スクールバス通学による事件事故も全国で多発しています。リスクがありすぎる1校への統合は、時期尚早なのです。

潮来市の様に、コロナで説明不十分という理由で統合は一旦白紙にするべきです。

人間誰でも間違いや過ちはつきもの、決まった事だからと言って、失敗した経験は数えきれません。統合してから後悔しても遅いのです。統合しなければ良かった…と悔やんでも遅いのです。

まずは、子育て層が移住していただける可能性を残すことが先決ではありませんか？つまり、小学校がないと子育て層は移住（Iターン・Uターン含む）してもらえません。一生のお願いです。何度でも何回でも言います。どうか今一度、小学校の統合計画は一旦白紙に戻して、慎重な判断を強く求めます。